

令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会

1. 日 時：令和5年11月27日(月) 13:30～15:00
2. 場 所：白河厚生総合病院附属高等看護学院 講堂

1) 会議の概要：自己評価委員からの報告

(1) 令和4年度 学校評価の結果

- ① 令和4年度 自己点検・自己評価結果
- ② 令和4年度 授業評価
- ③ 令和4年度 実習評価

(2) 令和5年度 方針・行動計画について

- ① 令和5年度 運営方針
- ② 令和5年度 進捗管理
- ③ 令和5年度 教育体制
- ④ 令和5年度 会議計画
- ⑤ 令和5年度 学校安全教育計画

(3) 学院行事について

(4) 学生の状況

- ① 第112回看護師国家試験の結果
- ② 令和4年度 卒業生の進路状況
- ③ 入学生の状況

(5) 新カリキュラム導入後の進捗状況

- ① カリキュラム評価
- ② 実習関連

地域の健康を支える看護実習/高齢者の療養の場と生活の援助を学ぶ実習

(6) その他

2) 授業参観：異学年合同演習(1・3年生による洗髪)

3) 学校関係者委員による評価

3. 学校関係者評価委員からのご意見および本校の回答

ご意見	回答
地域を見据えた看護実習の取り組みについて さまざまな地域で実習を行っているが、実習施設ごとの地域の特性をどのように共有しているのか、地域によって学びの差はないか。	実習最終日に学内実習を設けており、それぞれの実習先の地域の特性を踏まえた事業内容を発表し、学びの共有をしている。今後は、より地域の特性を意識しその施設に課せられた役割を関連づけながら学べるよう指導内容に盛り込み教育していく。
異学年合同演習の授業では学年を越えた演習において、導入時はどのように開始しているのか、上級生の負担はないか。2年生は実習経験も少ないため自己の技術に自信が持てない中での指導となっているのではないか。3年生には実習で得た知識・技術を伝えて欲しい。	合同演習を開始する前に、上級生には技術の振り返りとともに何を下級生に指導するか考えた上で臨むようにしている。また、下級生には最低限、知識を身に付け技術練習を重ね、その上で上級生へ確認したいことを事前に準備し臨むようにしている。上級生の中には負担と感じている学生もいると思うが、役割分担を検討していく。 上級生は先輩として、下級生の世話をすることで、卒後臨床での後輩育成へとつなげられることもねらいの一つとしており、年間を通して計画的に設定している。